

## 第1回地方議会議員年金制度検討会 議事の概要

### 1 日 時

平成17年7月26日(火) 10時30分～12時30分

### 2 場 所

ルポール麹町2階 サファイア

### 3 出席者(敬称略)

座長 小早川光郎(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

森 繁一(地方公務員共済組合連合会理事長)

横道 清孝(政策研究大学院大学教授)

渡辺 俊介(日本経済新聞論説委員)

(五十音順)

米田 義三(石川県議会議員、都道府県議会議員共済会会長)

片山 尹(北九州市議会議員、前市議会議員共済会会長)

須田 和博(総務省自治行政局公務員部長)

### 4 議事の概要

#### (1) 武智自治行政局長あいさつ

武智自治行政局長より、あいさつがなされた。

#### (2) 座長選出

構成員の互選により小早川光郎氏が座長に選出された。

#### (3) 検討会の趣旨、スケジュール等について

- ・ この検討会の趣旨は、近年、地方議会議員の年金財政が、市町村合併の進展に伴う会員数の減少や年金受給者の高齢化に伴う受給期間の延び等により、厳しい状況にあることから、地方議会議員年金制度を将来にわたって安定した制度とするために講ずべき具体的施策について、学識経験者、地方議会議員共済会代表等で幅広く議論するものである。
- ・ スケジュールについては、今後、5回程度開催し、年内に報告を取りまとめる予定である。
- ・ この検討会は非公開とするが、議事の概要については、総務省のホームページに掲載すること等により公開する。

(4) 地方議会議員年金制度の現状、問題点について

① 事務局から、地方議会議員年金制度の概要について説明があった。  
これについて、次のような意見が出された。

- ・ 厳しい財政状況に対応するために検討が必要な地方議会議員年金の見直しは、国会議員互助年金とは議論の前提が異なっていることを整理しておく必要があるのではないか。
- ・ 会員においては、負担増になっても制度の維持を希望する声が強い。
- ・ 既裁定者の取扱いについては、早い時期から法制的にも整理した上で議論することが必要ではないか。
- ・ 合併特例法に基づく措置については、同時に給付の在り方を見直すなど、地方議会議員年金に対する住民の批判を受けないように、バランスを取りながら検討する必要があるのではないか。
- ・ 検討会においては、幅広い意見を聴きながら、現行制度の改善に向けた議論をしていくというスタンスで検討することが必要ではないか。
- ・ 恩給的な制度から社会保険的なものへと見直しの方向が示されている国会議員互助年金と、すでに社会保険的な仕組みである地方議会議員年金とでは、議論の前提が違うのではないか。

② 共済会の事務局から、地方議会議員年金制度に関する研究会における検討状況について説明があった。

(5) 地方議会議員年金制度に関する検討項目について

事務局から、地方議会議員年金制度に関する検討項目（案）について説明があった。

これについて、次のような意見が出された。

- ・ 市町村の合併に伴い、町村議会議員共済会のみならず市議会議員共済会の財政も厳しい状況にある。
- ・ 市議会議員共済会の財政が厳しい状況にある要因には、市町村の合併に伴う移換金の額が十分でないことや、町村議会議員共済会から市議会議員共済会に多数の既裁定者が移ってくることがある。

(6) 次回日程について

第2回検討会の開催については、改めて日程を調整することとされた。

以 上